

大阪のまちづくりグランドデザイン(案)

大阪市役所で表題の府民意見募集が12月9日締切で行われていることを知った。まず概要から、「大阪のまちづくりグランドデザイン案」を概観しておきたい。

「ポストコロナを見据え、大阪・関西万博やスーパー・メガリージョン形成等のインパクトを活かし、東西二極の一極を担う「副首都」として、さらに成長・発展していくため、大阪都市圏全体を視野に、2050年を目標として、大阪のめざすべき都市像やまちづくりの方向性、その推進の取組等を示す。」

1. 大阪都市圏からみた特徴・役割
2. めざすべき都市像

- (1) まちづくりの目標

未来社会を支え、新たな価値を創造し続ける、人中心のまちづくり

- (2) 大阪を取り巻く都市構造

- (3) めざすべき都市構造

3. まちづくりの戦略と取組の方向性

戦略1 成長・発展をけん引する拠点エリアを形成

2 大阪ならではの魅力を活かし、暮らしやすさ

NO.1都市を実現

3 海・川・山や多様な地域資源を活かし、地域を活性化

4 人・モノ・情報の交流を促進

5 安全・安心でグリーンな社会を実現

4. グランドデザインの推進に向けて
5. 取組ロードマップ
6. まちづくりマップ



2012年策定の「グランドデザイン・大阪」、16年策定

の「グランドデザイン・大阪都市圏」の策定後に生じた社会情勢の変化や新たな潮流等を踏まえるとともに、2つの計画の考え方を整理・統合し、2050年に向けた大阪全体のまちづくりの方向性を示すものという。

人口減少時代に入り、日本経済や国土構造が「限界」に近づいているなか、どのようなグランドデザインを描くのか注目したが、期待はずれであった。相変わらずの成長と「副首都」志向であり、上から目線のデザインだ。詳細に検討して意見にまとめたい。

(2022年12月4日)